

中野太子堂

中野集落にある太子堂は、もとは太山寺の一堂でしたが、織田信長の焼打ちにあい、再興されたものです。

太子堂には聖徳太子の絵伝や画像（高島市指定文化財）が残されており、絵伝の最後には太山寺創建の一場面が描かれており、当時の姿がうかがえます。

太山寺(城)跡 ガイドマップ

阿弥陀山に登ろう

太山寺は中世の寺院跡で、当時の繁栄がうかがえる本堂跡や塔の基壇や礎石が残っています。

また、阿弥陀山の参詣道と考えられる山道を歩きながら、山頂にたどりつくと、すばらしい眺望が眼前に広がります。



阿弥陀山からの眺望

阿弥陀山 山頂

里山散策道

太山寺(城)

太山寺

太山寺の名前は、江戸時代に記された地誌『近江輿地志略』によると、昔、この山の上に阿弥陀山太山寺というお寺があったことに由来します。

太山寺は聖徳太子の創建と伝えられ、のちに「高島七か寺」の一つにも数えられます。

風結い (田舎暮らし体験施設)

旧太子堂跡

たいさんじ風花の丘 (農産物販売)

泰山寺野

ソラノネ食堂

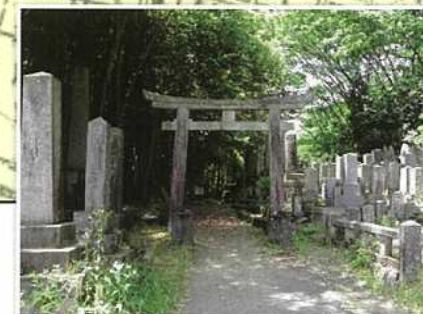
阿弥陀山

阿弥陀山は比良山系の最北端に位置し、標高454mの山頂からは、広大な平野や琵琶湖を一望することができます。

また、この山は古くから西方浄土の信仰の対象とされ、地元の人々だけでなく、琵琶湖対岸の人々からも信仰されていました。

三田集落

三田集落は「弥陀」を「三田」の字に改めたとされるほか、集落西方の墓地にある三味鳥居は阿弥陀山を西方浄土に見立てて、そこに旅立つための入り口と伝えられています。



三味鳥居

製作：高島市役所 農林水産部 農村整備課
TEL：0740-25-8529 FAX：0740-25-8519
E-Mail：nouson@city.takashima.lg.jp

太山寺の遺構

本堂跡

最高所に位置し、最も広い平坦地が本堂跡と考えられていて、石積の基壇や礎石（建物の柱を立てる石）が整然と並んでいます。

太山寺の遺構は、阿弥陀山の南側中腹の字名「阿弥陀山」、通称「御屋敷」と呼ばれる範囲に広がっています。

中世の古文書である『朽木家古文書』には元弘3年（1333）や建武2年（1335）に「太山寺」の名がみられます。

また、慶長7年（1602）の田中郷の検地帳には実松坊、法泉坊、奥院、大仙坊、梅本坊などの地名が見られることから、中世には多くの寺坊があったことがうかがえます。

参道（通路）

本堂跡に向かって、参道と考えられる石段の通路がのび、その両側には坊院と考えられる平坦地が階段状に並びます。

●石仏集積地

東尾根の遺構

里山散策道

●太山寺（城）案内板

西尾根の遺構



堀切



礎石（本堂）



基壇（本堂）



- 平坦地（坊院跡）
- 堀
- 土塁
- 基壇（本堂）
- 通路

周辺一帯には、寺と考えられる遺構のほかに堀切や土塁など防御のための遺構が見られることから、戦国時代の緊張関係の中で、城郭として改修された可能性も考えられます。

